

よんであげたい 絵本

2さい～4さい児向け

目次

1	かぞく	1-2 p
2	ともだち	3 p
3	しごと	4 p
4	くらし	5-6 p
5	たべもの	7 p
6	からだ	8 p
7	おおきくなること	8-9 p
8	むし・どうぶつ	10-11 p
9	しぜんのはなし	11-13 p
10	のりもの	13-14 p
11	ことばとかず	15 p
12	さがしっこ・あてっこ	16 p
13	ゆかいなはなし	17-18 p
14	むかしはなし	18-19 p
15	ものがたり	20-21 p




このリストは、下記のように考えて、本を選んでいきます。

- このリストは、おおむね2才から4才までを対象としています。
- 内容はテーマごとにまとめました。
- このリストに載せた本は、市立図書館で借りられます。



リストの見方

★のついている本は、
シリーズの1冊です。

『本のタイトル』	→	★『ちいさいじどうしゃ』	
作者、翻訳者など	{	ロイス・レンスキー ぶん・え わたなべしげおやく	
出版社	→	福音館書店	

大人が開く絵本の扉！
子どもが飛び込む絵本の世界！

かぞく

▼一番身近で安心できる人たち▼

『あかちゃんてね』

星川ひろ子著
星川治雄著
小学館



『いもうとのにゅういん』

筒井頼子さく
林明子え
福音館書店



『上のおばあちゃん 下のおばあちゃん』

トミー・デ・パオラ
さく・え
たかぎゆきこやく
絵本の家



『あさえと ちいさいいもうと』

筒井頼子さく
林明子え
福音館書店



★『うさこちゃんの たんじょうび』

ディック・ブルーナ
ぶん・え
いしいももこやく
福音館書店



『あそぼうあそぼう おとうさん』

浜田桂子さく
福音館書店



『おじいちゃん』

ジョン・
バーニンガムさく
たにかわ
しゅんたろうやく
ほるぷ出版



『あやちゃんのうまれたひ』

浜田桂子さく・え
福音館書店



『おじいちゃんのところ』

ヘレン・V. グリフィス文
ジェームズ・
スティーブンソン絵
あきのしょういちろう訳
童話館出版



★『アンジェリーナ おねえさんになる』

キャサリン・
ホラバード文
ヘレン・クレイグ絵
おかだよしえ訳
講談社



『おたんじょうび おめでとう!』

パット・ハッチンスさく
わたなべしげおやく
偕成社



『おとうさん・パパ・
おとうちゃん』

みやにしたつや作・絵
鈴木出版



『ジェラルディンの
きょうからおねえちゃん』

ホリー・ケラー作・絵
e q P r e s s 訳
国土社



『おとうさんだいすき』

司修作・文・絵
文研出版



『パパ、お月さまとって!』

エリック・カールさく
もりひさしやく
偕成社



『おへそのあな』

長谷川義史作
B L 出版



『ピッツァぼうや』

ウィリアム・スタイグ作
木坂涼訳
セーラー出版



『おいよりのとうさん』

さとうわきこ作・絵
フレーベル館



『かばさん』

やべみつのり作
こぐま社



『カンガルーの子どもにも
かあさんいるの?』

エリック・カールさく
さのようこやく
偕成社



Q 1 子どもの本を読んでも、
ちっとも楽しくないわ。

A 1 子どもの本は、子どもに
楽しんでもらえるように
作られています。大人が
読んでも楽しくないもの
があるのは仕方がないこ
と。そういうときは、本
を楽しんでいるお子さん
の様子を楽しんでみては
いかがでしょうか。新しい
発見があって楽しいと思
いますよ。

ともだち

▼一緒に笑って怒って泣いて楽しい毎日▼

『あおくと きいろちゃん』

レオ・レオーニ作
藤田圭雄訳
至光社



『うごいちゃだめ!』

エリカ・シルヴァマンぶん
S. D. シンドラーえ
せなあいこやく
アスラン書房



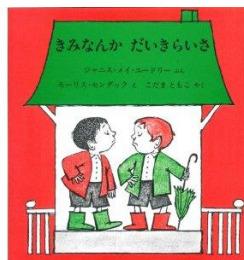
★『おんなじおんなじ』

多田ヒロシ著
こぐま社



『きみなんか だいきらいさ』

ジャニス・メイ・
ユードリーぶん
モーリス・センダックえ
こだまともこやく
富山房



★『コッコさんの ともだち』

片山健さく・え
福音館書店



『しんせつなともだち』

方軼羣作
君島久子訳
村山知義画
福音館書店



『たからさがし』

中川李枝子さく
大村百合子え
福音館書店



『たろうのともだち』

村山桂子さく
堀内誠一え
福音館書店



『とんことり』

筒井頼子さく
林明子え
福音館書店



Q 2 読み聞かせって、上手に読んであげないといけないよね？

A 2 上手に読む必要なんてありません。身近な人の声、子どもを安心させてくれます。いつも聞いている声で読んでもらえると、子どもは安心して、お話に夢中になれるのです。

しごと

▼子どもたちの夢のかたまり▼

「あなぐまの クリーニング屋さん」

正岡慧子文
三井小夜子絵
PHP 研究所



「おおきくったら なにになる？」

フランソワーズさく
なかがわちひろやく
偕成社



「おふろ屋さん」

西村繁男作
福音館書店



★「スモールさんののうじょう」

ロイス・レンスキー
ぶん・え
わたなべしげおやく
福音館書店



「ねずみの おいしゃさま」

なかがわまさふみさく
やまわきゆりこえ
福音館書店



★「パンやのくまさん」

フィービ・
ウォージントンさく・え
セルビ・
ウォージントンさく・え
まさきりこやく
福音館書店



「ぼちぼちいこか」

マイク・セイラーさく
ロバート・グロスマンえ
いまえよしともやく
偕成社



Q 3 本を読んであげると言う
と、同じ本ばかり持って
きて困っちゃう。

A 3 子どもは知っているお話
が大好きです。次がどう
なるかわかっていて、そ
のとおりになるのが楽し
いのです。読んであげる
人は飽きてしまっても、
子どもはその度に新しい
発見をしています。
お気に入りの本を見つけ
られるって幸せなことな
んですよ。次から次へと
たくさん本を読んであげ
ることよりも「繰り返し」
が大切です。

くらし

▼毎日が新しい発見▼

★「14ひきのおつきみ」

いわむらかずおさく
童心社
おつきみ



『かささしてあげるね』

はせがわせつこぶん
にしまきかやこえ
福音館書店



『くまさんくまさん』

なかがわりえこさく
やまわきゆりこえ
福音館書店



『あらいぐまと ねずみたち』

大友康夫さく・え
福音館書店



★「ぐいとぐらの おきゃくさま」

中川李枝子さく
山脇百合子え
福音館書店
クリスマス



『おさんぽおさんぽ』

ひろのたかこさく
福音館書店



『ケロちゃん ケケちゃんケロロちゃん おてつだいおてつだい』

長野ヒデ子作・絵
ひさかたチャイルド



『おふろだいすき』

松岡享子作
林明子絵
福音館書店



『十二支のはじまり』

岩崎京子文
二俣英五郎画
教育画劇
お正月



『おやすみなさいおつきさま』

マーガレット・
ワイズ・ブラウンさく
クレメント・ハードえ
せたていじやく
評論社



★「せんたくかあちゃん」

さとうわきこさく・え
福音館書店



『たなばた』

君島久子再話
初山滋画
福音館書店
七夕



『はけたよはけたよ』

かんざわとしこぶん
にしまきかやこえ
偕成社



『たなばたむかし』

大川悦生作
石倉欣二絵
ポプラ社
七夕



『パンツのはきかた』

岸田今日子さく
佐野洋子え
福音館書店



『でんきがまちゃんと
おなべちゃん』

長野ヒデ子作
学研教育出版
重版未定



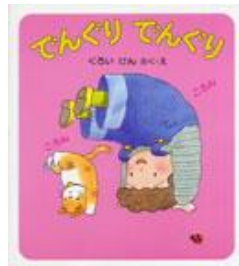
『まどからおくりもの』

五味太郎作・絵
偕成社
クリスマス



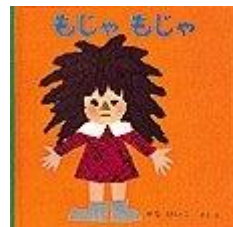
『でんぐりでんぐり』

くろいけんさく・え
あかね書房



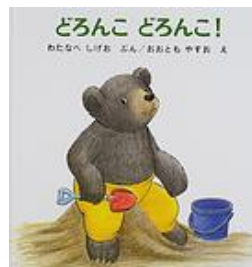
★『もじゃもじゃ』

せなけいこさく・え
福音館書店



★『どろんこどろんこ!』

わたなべしげおぶん
おおともやすおえ
福音館書店



『よもぎだんご』

さとうわきこさく
福音館書店



★『ねずみのいえさがし』

ヘレン・ピアスさく
まつおかきょうこやく
童話屋



■ちよこつとインフォメーション■

子どもの本は年間300冊程度発行されています。そんなたくさんある本の中から、どんな本を選んでいいか迷ったことはありませんか？ そんなときはお近くの図書館に相談してみてもいいでしょう。アドバイスを参考にする、本が選びやすくなるかもしれませんよ。

たべもの

▼おいしいもの大好き▼

「おいしいおと」

三宮麻由子ぶん
ふくしまあきええ
福音館書店



「おにぎり」

平山英三ぶん
平山和子え
福音館書店



「からすのパンやさん」

加古里子絵と文
偕成社



「サリーのこけももつみ」

ロバート・マックロスキー文・絵
石井桃子訳
岩波書店



「サンドイッチ サンドイッチ」

小西英子さく
福音館書店



★「しろくまちゃんのほっとけーき」

わかやまけん作
こぐま社



「ピッキーとポッキー」

あらしやまこうざぶろうぶん
あんざいみずまるえ
福音館書店



「やさいだいすき」

柳原良平作・絵
こぐま社



Q 4 子どもに本を読んであげたいけれど、どうやって本を選べばいいの？

A 4 最初の一步の絵本にはボードブックという厚紙仕立ての絵本がおすすめです。絵ははっきり、明るく、丁寧に描かれ、温かみのあるものを。文章はわかりやすく、言葉にリズム感のあるものを。内容はお子さんの興味に合わせて選んでみてください。お子さんの興味はっきりとしているのなら、お子さんと一緒に選んでみてはいかがでしょうか。

からだ

▼体の中はワクワクがたくさん▼

「あたしもびょうきにないたいな！」

フランツ・
ブランデンベルク さく
アリキ・
ブランデンベルク え
ふくもとゆみこ やく
偕成社



「おなら」

長新太 さく
福音館書店



「ドアがあいて…」

エルンスト・
ヤンドゥル 作
ノルマン・ユンゲ 絵
斉藤洋 訳
ほるぷ出版



「ぼくびょうきじゃないよ」

角野栄子 さく
垂石真子 え
福音館書店



「みんなうち」

五味太郎 さく
福音館書店



おおきくなること

▼ドキドキは大きくなるための大事な栄養▼

「あかがいちぼん」

キャシー・
スティンスン ぶん
ロビン・
ベアード・ルイス え
ふしみみさを やく
ほるぷ出版



「あいのおつかい」

石井桃子 さく
中川宗弥 え
福音館書店



★「アングスとあひる」

マージョリー・
フラック さく・え
瀬田貞二 やく
福音館書店



「いたずらこねこ」

バーナディン・
クック ぶん
レミイ・シャーリップ え
まさきりこ やく
福音館書店



『ぐるんぱのようちえん』

西内ミナミ さく
堀内誠一 え
福音館書店



『こすずめのぼうけん』

ルース・
エインズワース作
石井桃子訳
堀内誠一画
福音館書店



『びくびくピリー』

アンソニー・
ブラウンさく
灰島かりやく
評論社



『ちいさなねこ』

石井桃子さく
横内襄え
福音館書店



『ベーコンわすれちゃだめよ！』

パット・ハッチンスさく
わたなべしげおやく
偕成社



『ちいさなヒッポ』

マーシャ・ブラウンさく
うちだりさこやく
偕成社



『わたしがあかちゃんだったとき』

キャスリーン・
アンホール作
角野栄子訳
文化出版局



『ちびゴリラのちびちび』

ルース・
ボーンスタインさく
いわたみみやく
ほるぷ出版



『ティッチ』

パット・
ハッチンスさく・え
いしいももこやく
福音館書店



★『ピーターのいす』

エズラ・ジャック・
キーツ作・画
木島始訳
偕成社



Q 5 子どもが「読んで」と言
って持ってきた本が、ど
うみても難しそうな本だ
としても、読んであげた
方がいいの？

A 5 読んであげてください。
子どもは大人が思ってい
るより、ずっと理解力が
あります。自分では読む
ことができなくても、誰
かに読んでもらえればわ
かるという本が多くあり
ます。また、子どもは絵
を楽しみに本を選ぶこと
もあります。大人が無理
だと判断せず、子どもの
興味を大切にして、飽き
るまで読んであげてくだ
さい。

むし・どうぶつ

▼ず〜っと見てても飽きないよ▼

「いぬが いっぱい」

グレース・スカールさく
やぶきみちこやく
福音館書店



「かぶとむしはどこ？」

松岡達英さく
福音館書店



「かまきり」

得田之久ぶん・え
福音館書店



「こんなしっぽで なにをするの？」

ステイブ・
ジェンキンス共作
ロビン・ペイジ共作
佐藤見果夢訳
評論社



「ざりがに」

吉崎正巳ぶん・え
須甲鉄也監修
福音館書店



「ダンゴムシ」

今森光彦文・写真
アリス館



「ちいさな てのひらずかん 2 たんぼやみずべの いきもの」

松橋利光写真
高橋和枝絵
学研



「てのひらかいじゅう」

松橋利光しゃしんとぶん
そうえん社



「どうやってねるのかな」

やぶうちまさゆき作
福音館書店



「どこにいるの？ シャクトリムシ」

新開孝写真・文
ポプラ社



「ねこが いっぱい」

グレース・スカールさく
やぶきみちこやく
福音館書店



『ぼく、だんごむし』

得田之久ぶん
たかはしきよしえ
福音館書店



しぜんのふしぎ

▼自然の中は不思議がいっぱい▼

『おしさんとこいくの?』

得田之久さく
童心社



『いちご』

平山和子さく
福音館書店



『きょうりゅうきょうりゅう』

パイロン・
バートンさく・え
なかがわちひろやく
徳間書店



『きらきら』

谷川俊太郎文
吉田六郎写真
アリス館



Q 6 子どもに本を読んであげるときは、向かい合って絵が見せながら、読んであげた方がいいの？

A 6 向かい合って読むのは、何人かの子ども対象にした読み聞かせの場合の読み方です。保護者の方が読むときは、できるだけ同じ方向から本を見てください。膝の上に乗せて、一緒に読むと子どもは怖い話でも安心して聞いていられます。

『くるくるくるみ』

松岡達英さく・え
そうえん社



『さくら』

長谷川摂子文
矢間芳子絵・構成
福音館書店



『たんぽぽ』
甲斐信枝作・絵
金の星社



『はっばのおうち』
征矢清さく
林明子え
福音館書店



『つくし』
甲斐信枝さく
福音館書店



『ひまわり』
和歌山静子作
福音館書店



『とうさんは
タツノオトシゴ』
エリック・カールさく
さのようこやく
偕成社



『ぼとんぼとんは
なんのおと』
神沢利子さく
平山英三え
福音館書店



『とべバッタ』
田島征三作
偕成社



『ほね』
堀内誠一さく
福音館書店



『トマトのひみつ』
山口進文・写真
福音館書店



『まめ』
平山和子さく
福音館書店



『どんぐり』
こうやすすむさく
福音館書店



『みんなおなじ
でもみんなちがう』
奥井一満文
得能通弘写真
福音館書店



「りんご」

松野正子ぶん
鎌田暢子え
童心社



「りんごのき」

エドアルド・
ペチシカぶん
ヘレナ・
ズマトリーカバーえ
うちだりさこやく
福音館書店



「れんげのおきゃくさま」

久保秀一写真
七尾純文
偕成社



のいもの

▼みんなを乗せて出発進行！！▼

★「いそがしいぞ
はしれはしれ」

ベネディクト・
ブラスウェイト作
青山南訳
BL出版



「がたごとがたごと」

内田麟太郎文
西村繁男絵
童心社



「きかんしゃヘンリエッタ」

ジェームス・
クリュスさく
リーズル・
シュティッヒえ
はたさわゆうこやく
フレーベル館

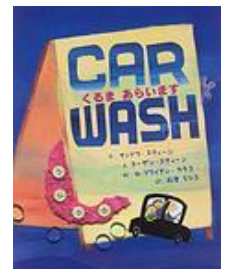


Q 7 毎日毎日忙しくて本を読
んであげられない。
いつ読めばいいかしら。

A 7 お子さんを寝かしつける
ときはいかがでしょう。
眠りにつくまでの時間を
利用してはいかがです
か。
ご自身が忙しいときは、他
のご家族に読んでもら
うという方法もありますよ。

「くるまあらいます」

サンドラ・スティーン文
スーザン・スティーン文
G. ブライアン・カラス絵
石津 ちひろ訳
BL出版



「くるまはいくつ？」

渡辺茂男さく
堀内誠一え
福音館書店



『しょうぼうじどうしゃじぶた』

渡辺茂男さく
山本忠敬え
福音館書店



『でんしゃほうたう』

三宮麻由子ぶん
みねおみつえ
福音館書店



『それゆけ、フェルティナント号』

ヤーノシュ作・絵
つつみなみこ訳
徳間書店



『とどくかな』

三浦太郎作
偕成社



★『ちいさいじどうしゃ』

ロイス・レンスキー
ぶん・え
わたなべしげおやく
福音館書店



『とべ！ちいさいプロペラき』

小風さち作
山本忠敬絵
福音館書店



『ちいさなちいさな
駅長さんの話』

いぬいとみこぶん
津田櫓冬え
新日本出版社



『はしれ！かもつたちの
ぎょうれつ』

ドナルド・
クリューズさく
たむらりゅういちやく
評論社



『でんしゃがくるよ！』

シャーロット・ヴォーク作
竹下文子訳
偕成社



『はたらくるま
みちをつくる』

こもりまことさく
教育画劇



『でんしゃでいこう
でんしゃでかえろう』

間瀬なおかた作・絵
ひさかたチャイルド



■ちよこつとインフォメーション■

中野市の図書館では図書館カードを作ると本を借りることができます。生まれたての赤ちゃんでもカードを作ることができ、本を借りられます。(但し、市内に在住・在勤・在学の方に限ります。)最初にカードを作られるときは、作られる方の「お名前」「ご住所」「生年月日」を確認できるものをお持ちください。

ことばとかず

▼言葉も数も新しい世界へのパスポート▼

『いちにのさんぽ』

ひろかわさえこ著
アリス館



『ごろごろにゃーん』

長新太作・画
福音館書店



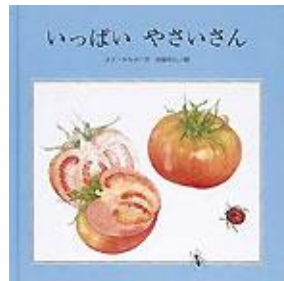
『ハンダのめんどりさがし』

アイリーン・
ブラウン作
福本友美子訳
光村教育図書



『いっばいやさいさん』

まどみちお文
斎藤恭久絵
至光社



『ぶたためき きつねねこ』

馬場のぼる著
こぐま社



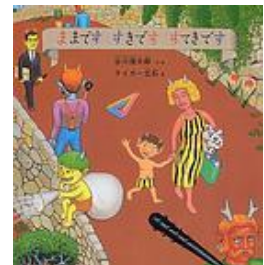
★『おやおや、おやさい』

石津ちひろ文
山村浩二絵
福音館書店



『ままですすきです すてきです』

谷川俊太郎ぶん
タイガー立石え
福音館書店



『かおかおどんなかお』

柳原良平作・絵
こぐま社



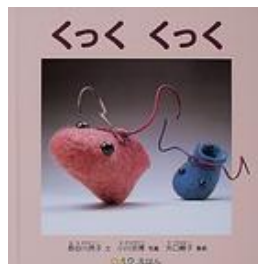
『めのまどあけろ』

谷川俊太郎ぶん
長新太え
福音館書店



『くっくく』

長谷川摂子文
小川忠博写真
福音館書店



『ゆかいなさんぽ』

土方久功さく・え
福音館書店



さがしっこ・あてっこ

▼ねえ、みつかった？うん、見つかった！▼

『いるよいるよ』

ブライアン・
ワイルドスミス作
レベッカ・
ワイルドスミス作
香山美子文
フレーベル館



『くらいくらい』

はせがわせつこぶん
やぎゆうげんいちろうえ
福音館書店



★『さんさんさんかく』

得田之久ぶん
織茂恭子え
童心社



『かくしたのだあれ』

五味太郎さく
文化出版局



『たべたのだあれ』

五味太郎さく
文化出版局



『かまきりっこ』

近藤薫美子著
アリス館



『きゅうりさん あぶないよ』

スズキコージ作
福音館書店



『きんぎょがにげた』

五味太郎作
福音館書店



Q 8 読んでほしいと言われるのは同じような内容の本ばかり。他の本にも興味を持って欲しいけど、どうすればいいの？

A 8 「今日はあなたの好きな本を読んだから、明日は私の好きな本を聞いてね。」と子どもと約束してみてもいいでしょう。いきなり興味のない本を読んでもらうよりは、納得して聞いてもらえると思います。

それでも、全く興味を示さないのであれば、「これはまたいつか。」と諦めるのも大切。興味のないものを無理強いすると、本を読んでもらうことそのものに興味を持たなくなってしまいます。

ゆかいなはなし

▼おもしろくって笑っちゃうよ！▼

『赤い目のドラゴン』

アストリッド・
リンドグリーン文
イロン・ヴィークランド絵
ヤンソン由実子訳
岩波書店



★『おぼけのバーバパパ』

アネット・チゾンさく
タラス・テイラーさく
やましたはるおやく
偕成社



『くまさんくまさん なにみてるの？』

エリック・カールえ
ビル・マーチンぶん
偕成社編集部やく
偕成社



『せかいーわるい かいじゅう』

パット・
ハッチンスさく
乾侑美子やく
偕成社



★『ぞうくんのさんぽ』

なかのひろたかさく・え
なかのまさたかレタリング
福音館書店



★『タンタンのハンカチ』

いわむらかずお作
偕成社



『つきよのかいじゅう』

長新太さく
佼成出版社



『できるかな？ あたまからつまさきまで』

エリック・カールさく
くどう なおこやく
偕成社



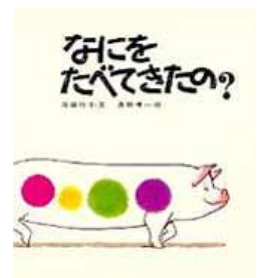
『てじな』

土屋富士夫作
福音館書店



『なにをたべてきたの？』

岸田衿子文
長野博一絵
佼成出版社



★『ねずみくんのチョコッキ』

なかえよしを作
上野紀子絵
ポプラ社



★「ねずみさんの
ながいパン」

多田ヒロシ作
こぐま社



むかしばなし

▼何度聞いても飽きないよ▼

「ハンダのびっくりプレゼント」

アイリーン・ブラウン作
福本友美子訳
光村教育図書



「3びきのくま」

トルストイぶん
バスネツオフえ
おがさわらとよきやく
福音館書店



★「わにわにのごちそう」

小風さちぶん
山口マオえ
福音館書店



「おおかみと七ひきのこやぎ」

グリム原作
フェリクス・
ホフマンえ
せたていじやく
福音館書店



「おおきなかぶ」

A. トルストイ再話
内田莉沙子訳
佐藤忠良画
福音館書店



「おだんごぼん」

瀬田貞二訳
脇田和画
福音館書店



「かさじぞう」

瀬田貞二再話
赤羽末吉画
福音館書店



Q 9 父親にも読んでほしいと思うけど、男性が読むと面白い本はあるの？

A 9 オバケや鬼、妖怪が出てくる話や、わくわくするような冒険の話は、女性より男性に読んでもらう方が面白いと思います。他には、父親や祖父など男性の目線からストーリーが書かれているお話も良いと思います。
オバケや鬼の話を怖がってしまうお子さんなら、どうぞ、膝の上に抱いて本を読んであげてください。絶対に安全な場所で読んでもらえるのなら、怖いお話も楽しんでもらえると思います。

『ガラスめだまと
きんのつこのヤギ』

田中かな子訳
スズキユージ画
福音館書店



『やまなしもぎ』

平野直再話
太田大八画
福音館書店



『こびととくつや』

グリム原作
カトリーン・ブラント絵
藤本朝巳訳
平凡社



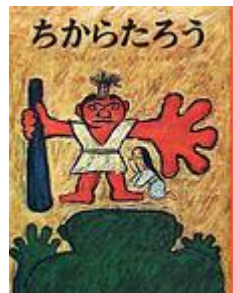
『三びきのやぎの
がらがらどん』

マーシャ・ブラウンえ
せたていじやく
福音館書店



『ちからたろう』

いまえよしともぶん
たしませいぞうえ
ポプラ社



『てぶくろ』

エウゲーニー・
M・ラチョフえ
うちだりさこやく
福音館書店



『フレイメンのおんがくたい』

グリム原作
ハンス・フィッシャーえ
せたていじやく
福音館書店



Q10 孫に本を読んであげたいけど、どんな本がいいの？

A10 昔話はいかがでしょう。年配の方の呼吸にあっていて、味わい深いお話になります。実は、幼児の速度と年配の方の速度はよく似ています。同じ速度で読んでもらえるので、子どもは安心してお話に集中することができます。どんどん読んであげてください。

■ちょこっとインフォメーション■

おはなし会に行ってみたいけど、どこでやっているのかしら？なんて疑問を持たれたことはありませんか。そんなときは「おはなしマップ」をご利用ください。年4回の発行で、いつ、どこで、どんなおはなし会が開催されるのかが載っています。おはなしマップは保育園・図書館・公民館などに置いてあります。

ものがたい

▼見たことのない世界へジャンプ!▼

『10までかぞえられるこやぎ』

アルフ・プリョイセン作
山内清子訳
林明子絵
福音館書店



『きつねとねずみ』

ビアンキさく
内田莉莎子やく
山田三郎え
福音館書店



★『ぐりとぐら』

中川李枝子さく
大村百合子え
福音館書店



『あな』

谷川俊太郎作
和田誠画
福音館書店



『こぶたのまーち』

むらやまけいこさく
ほりうちせいいちえ
福音館書店



『いちごばたけの ちいさなおばあさん』

わたりむつこさく
中谷千代子え
福音館書店



『でんしゃにのって』

とよたかずひこ著
アリス館



『おたまじゃくしの 101ちゃん』

加古里子絵と文
偕成社



『どうぞのいす』

香山美子作
柿本幸造絵
ひさかたチャイルド



★『かぼくん』

岸田衿子さく
中谷千代子え
福音館書店



『はなをくんくん』

ルース・クラウドぶん
マーク・シーモントえ
きじまはじめやく
福音館書店



★「はるがきた」

ロイス・レンスキー作
さくまゆみこ訳
あすなる書房



★「ひとまねこざると
きいろいぼうし」

H. A. レイ文・絵
光吉夏弥訳
岩波書店



★「まりーちゃんとひつじ」

フランソワーズ文・絵
与田準一訳
岩波書店



「ゆきのひ」

エズラ・ジャック・
キーツぶん・え
きじまはじめやく
偕成社



「ロージーのおさんぽ」

パット・
ハッチンスさく
わたなべしげおやく
偕成社



わたしのワンピース

にしまきかやこ
えとぶん
こぐま社



Q 1 1 テレビやビデオで教育番組を見させているから、絵本を読んでもあげる必要はないと思うけど。

A 1 1 幼児は音が出るもの、動くものに反応しやすいので、テレビがついているとじっと見つめています。でも、テレビから流れる一方的な言葉は、子どもの言葉に答えてはくれません。

人と人の信頼関係は言葉のやりとりで築かれます。絵本を読んでもあげるときの肉声は、読み手が意識する、しなやかに関わらず、子どもへの想いが込められます。絵本をとおして言葉を交わすときに伝わる想いが、心の成長を促すのです。

■ちょこっとインフォメーション■

子どもに本を読んであげたいと思ったとき、何を、どう、読んだらいいのか迷ったり、上手に読めないからととまどったりしてしまうことはありませんか？ そんなときは図書館へ行って相談してみてもいいかもしれません。読んであげたい本も見つかるかもしれません。

～ リストを手にしたあなたへ ～

子どもたちが読書することは、人間形成の上でとてもたいせつなことです。それには小さいころから本との関わりを持つことが必要です。

家での読み聞かせは、コミュニケーションを作り出す、人と人との心のキャッチボールです。

今しかないひと時を楽しんでください。ちょっとした時間に手軽にできることですから。

子どもにとって、「私の一冊」が見つければ、人生でかけがえのない心の支えになることでしょう。

そしてそこには、自分を見つめる暖かい笑顔が見えるはずです。そのお手伝いができたらいいなと思います。

※このリストは、中野市子ども読書活動推進計画に基づき、中野市子ども読書活動推進連絡会議が作成しました。

発行：平成24年3月
改訂：令和2年3月